

# 平成 31 年度 町行政施策及び予算要望事項について

要望日 平成 30 年 7 月 31 日

回答日 平成 30 年 10 月 30 日

進捗状況報告日 令和元年 10 月 予定

## 総務常任委員会

### 1 防犯対策の強化【生活環境課】

- ① 地域の要望に対応した青色回転灯搭載車のパトロール充実（巡回数の増加）
- ② 防犯カメラの設置
- ③ アウトレットへの交番設置要望

#### （回答）

- ① 青色防犯パトロールについては、青色回転灯を点灯回転させる他に音声による広報活動を行い、活動強化を図っております。また、巡回数や巡回範囲の拡大を図るため、引き続き、広報、HP 等で啓発活動を行い、パトロール実施者証取得者の増員に努めてまいります。
- ② 防犯カメラの設置については、平成 30 年度に 4 基設置する予定で、その他、平成 31 年度には、2 基を設置する予定です。今後の必要箇所については、牛久警察署と協議・検討し、順次設置する方向で進めてまいります。
- ③ アウトレットへの交番設置要望については、引き続き治安の状況等を見ながら要望してまいります。

### 2 防災対策の強化【防災危機管理課】

- ① 防災ボランティアの育成と防災ボランティアセンターの組織化
- ② 危険箇所の総点検（ブロック塀等）

#### （回答）

- ① 阿見町地域防災計画において、災害発生時には町社会福祉協議会が災害ボランティアの活動拠点となる『阿見町災害ボランティアセンター』を設置・運営することとしており、社会福祉協議会では「阿見町災害ボランティアセンター運営マニュアル」を作成しております。

また、町では災害発生時の円滑なボランティア活動を推進するため、平成 29 年 10 月に、町社会福祉協議会と「阿見町災害ボランティアセンターの設置等に関する協定」を締結しました。

今後も引き続き、平時からの連携を深めるとともに、設置・運営に必要な支援を推進してまいります。

- ② 今年6月の大阪北部地震において、建築基準法の基準を満たしていないブロック塀が倒壊し、死亡事故が発生した事案を受け、町教育委員会では直ちに全小中学校で危険箇所の調査を実施しました。その結果、危険と判断された3中学校のテニスボール用壁打ちブロック塀3ヶ所、及び1小学校のブロック塀について撤去を行いました。

また、その他の町管理施設に関しては、各所管課において自主点検等を行っているところであります。

今後は、点検状況等の情報を精査し、対応策について検討していきたいと考えております。

### 3 男女共同参画社会の推進【町民活動推進課】

- ① 女性団体の育成強化と活動支援
- ② 各種委員会・審議会への女性の登用30%以上の早期実現

(回答)

- ① 引き続き、地域における女性団体の未結成地区に対し、女性団体のネットワークや区長会などの協力を仰ぎながら設立を促してまいります。

また、学習の機会や情報交換の場の提供、団体活動に役立つ情報の提供のほか、各団体が実施する自主的な勉強会・研修会に対する講師派遣や講師料の助成を実施しながら女性団体の育成、支援をしてまいります。

- ② 委員会・審議会への女性の登用について、今年度の総合計画審議会においては52%を達成しており、その他の事務局をもつ各課等に対しても積極的に推進するよう連携を図っております。

管理職（部長職，課長職）に対しても、これまで以上に各種委員会・審議会の構成員に関して、適材適所を踏まえた男女の構成に努めるよう働き掛けをしてまいります。

### 4 補助金制度の見直し【財政課】

(回答)

「補助金交付金に関する調」を基に現状分析を行い、補助の必要性や効果等について再検証するとともに、外部評価の活用等により、補助金制度の見直しと適正化を進めてまいります。

### 5 ゴミと産業廃棄物不法投棄への解決と防止対策【廃棄物対策課】

- ① パトロール・監視カメラの強化及び不法投棄物の回収強化

(回答)

- ① 不法投棄の発生防止と早期発見のために警察官 0B である環境保全監視員によるパトロール活動を実施し、監視体制の充実強化を図ってまいります。  
また、監視カメラや不法投棄抑止看板の増設のほか、悪質な事例に対しては、県や警察と連携を図りながら厳正に対処し、監視・抑止体制の充実強化に努めてまいります。  
さらに、シルバー人材センターによる不法投棄パトロールや町内クリーン作戦等により、国体会場周辺をはじめ、町ぐるみでポイ捨てごみの回収強化を実施し、環境美化の推進に取り組んでまいります。

## 6 議会事務局職員の増員【政策秘書課】

(回答)

職員の定数管理は、本町の事務事業を行政需要の変化に対応して、効果的・効率的に遂行するために、全体及び個々の部署の業務遂行に必要な人員を検討し、行政需要の効果的充足と、業務量と人員の適正化に向け、組織管理、財務管理、人事管理等を踏まえた総合的調整により行っております。

こうした中、平成 31 年度の茨城国体サーリング競技大会の開催成功に向け、所管する国体推進室の人員を、限られた人的資源の中で、全庁的な調整により生み出し、人・物・金の経営資源を集中的に投入している状況であります。

引き続き、公共の福祉の増進、町民サービスの向上、新たな行政需要にも柔軟に対応できるよう、全庁的視点をもって適正な職員定数管理を進めてまいります。

## 民生教育常任委員会

### 【保健福祉部】

#### 1 障がい者に優しいまちづくり【社会福祉課】

- ① 全ての課において障害者優先調達推進法の実践に取り組む
- ② 最低賃金を2万円以上にする

#### (回答)

- ① 町では、障害者優先調達推進法に基づき障害者就労施設からの物品等の調達について、毎年度調達方針を定め、調達に関する目標額達成を目指し取り組んでおります。引き続き、各課に全庁での取組を推進するために優先調達法の趣旨の理解と障害者就労支援施設に対する物品や役務及び委託等の周知を図り、障害者就労施設の受注機会の拡大に取り組んでまいります。
- ② 町内の障害者就労施設の就労継続支援B型事業所での就労は雇用契約に基づく就労が困難である者に対して、就労の機会の提供及び生産活動の機会を提供し、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等の支援を行うことから、福祉的就労と言われております。  
通所者に対しては、賃金は支払われておらず、作業による収入から必要経費を除いたものが工賃として分配されています。  
町内の事業所においては、県の工賃向上計画に基づき、それぞれ工賃向上の計画を作成し、工賃引き上げに向けた取組を継続して行っております。  
町としましてもあらたな受注の機会を確保できるよう、事業所の事業内容や取組み状況を町内企業へ周知してまいります。

#### 2 病児保育の整備【子ども家庭課】

#### (回答)

病院内託児施設を持つ医療機関に対し、引き続き病児保育の実施を働きかけ、具体的な方法について協議していくとともに、医療機関以外での実施の可能性も含めて方策を検討してまいります。

#### (教育委員会)

- 1 君原小学校及び阿見第二小学校の普通教室への冷房設備設置の早期実現  
【学校教育課】

(回答)

学校再編計画の対象校である君原小学校及び阿見第二小学校の普通教室に冷房設備を設置する工事を平成 31 年度の夏までに完了できるよう準備を進めます。

## 2 学校給食の充実【給食センター】

- ① 学校給食の残渣を現状の 50%以下にする

(回答)

- ① 学校給食の残渣につきましては、従来まで残った主食、絞った残食、野菜くず等を計量してまいりましたが、平成 30 年度から秤を追加購入して、さらに詳しく学校ごとに配食と残食の計量をしています。

今後は、これらのデータを分析し、献立や調理の工夫をして、児童生徒が残さない給食の提供に取り組み、残渣の減量に努めてまいります。

## 3 通学者への支援【学校教育課】

- ① 町内公立小・中学校への通学にかかるバス料金の無料化

(回答)

- ① 町内小・中学校への片道の通学距離が、小学校で 4 km以上、中学校で 6km 以上となる地区及び学校統廃合により遠距離通学となる地区の通学者について、バス料金を無料としたスクールバスの運行を行っております。

また、6 km以上の自転車通学者へは、引き続き遠距離通学者補助金を交付してまいります。

路線バス利用の通学者においては、町からバス会社に補助金を出してバス路線の運行を維持しています。遠距離通学ではなく、路線バスを利用して通学している児童・生徒への無料化は現在のところ考えておりません。

## 4 閉校になっている学校の利活用【政策秘書課】

- ① 閉校になっている学校についての地元からの要望の実現

(回答)

- ① 平成 30 年 3 月に閉校となった実穀小学校・吉原小学校については、各地区で組織された跡地利活用検討委員会より町長及び教育長に対して要望書が提出されており、内容としては主に地域交流拠点施設としての機能が求められています。

地域からの要望を受け、庁内では「阿見町学校跡地利用検討委員会」を設置し、町としての基本方針をとりまとめているところです。地元からの要望を実現すべく、平成 31 年度には必要な調査設計費の予算計上を目指しております。

## 5 歴史民俗資料館の整備【生涯学習課】

(回答)

歴史民俗資料館の整備については、資料の収集、建設場所、財政状況など、総合的な観点から判断しながら、整備に向けた検討を進めていきます。

## 産業建設常任委員会

### 1 加工調理施設の早期設置【商工観光課】

(回答)

加工センターは、どのような加工目的で利用するかによって、施設内容が違ってきます。町としては、適地、規模等を考慮し検討してまいります。

### 2 町道第 0104 号線フタムラ化学前への右折レーンの設置に対する調査費の計上【道路公園課】

(回答)

フタムラ化学前の右折車滞留による渋滞の解消方法としては、右折レーンの設置だけではなく、安価で時間のかからない時差式信号への変更も有効な手法の一つと考えております。

現在、所轄警察署と協議を進めておりますが、渋滞の状況を具体的に示すデータがないことから、平成 31 年度は交通量調査の予算を計上し、交通量及び渋滞状況の実態の把握に努めます。

その結果、時差式信号機への変更も渋滞解消に有効であると確認できれば、信号機変更要望を警察署に提出するとともに、さらなる有効な手法についても検討を行います。

### 3 都市計画道路「中郷・寺子線」の残余部分の早期整備【道路公園課】

(回答)

現在、町で事業化されている都市計画道路整備事業は「寺子・飯倉線」の一路線ですが、2024 年度の供用開始に向け、今年度から用地取得に着手した状況です。

このように、当該路線の事業スケジュールが確立できたことから、第 6 次総合計画後期基本計画の取り組みとして新たな都市計画道路の事業化に向けた準備に着手する予定ですので、その中で「中郷・寺子線」についても検討してまいります。